

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 3 月 15 日(2024.3.15)

【公開番号】特開 2022-160767(P2022-160767A)  
【公開日】令和 4 年 10 月 20 日(2022.10.20)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-193  
【出願番号】特願 2021-65167(P2021-65167)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 3 月 7 日(2024.3.7)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

第 1 記憶領域に記憶される領域内プログラムと、前記第 1 記憶領域とは異なる第 2 記憶領域に記憶される領域外プログラムと、を有する

遊技機において、  
バックアップ復帰処理と R A M クリア処理とを含む複数処理の何れかを、電源投入時に実行可能であり、

前記領域外プログラムによる判定処理に基づいて、所定 R A M 領域に所定判定情報を設定可能であり、

前記所定判定情報が設定された場合に、所定制御手段の制御により特定報知を行うためのコマンド送信を前記領域外プログラムにより実行可能であり、

30

電源投入時に前記バックアップ復帰処理が行われた場合には、前記所定判定情報をクリアしないことで前記特定報知を継続して実行する一方、

電源投入時に前記 R A M クリア処理が行われた場合には、前記所定判定情報をクリアすることで前記特定報知を実行しない

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記領域外プログラムによる前記判定処理に基づいて、前記所定 R A M 領域に前記所定判定情報が設定された場合、前記領域内プログラムにより遊技停止処理を実行可能に構成した

40

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機では、いわゆる遊技機規則において、主基板に搭載される R O M 等の記憶手段に関する規格が定められており、全体の記憶容量の他、例えば R O M に関しては制御領域とデータ領域とで構成される使用領域(第 1 記憶領域)の記憶容量について

50

制限が設けられ、不正な改造その他の変更を防止するために必要な情報以外の情報についてはその使用領域内で処理を行うこととされている（例えば特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

本発明は、記憶容量に制限のある記憶手段を用いた処理をより適切に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

10

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本願発明は、第１記憶領域に記憶される領域内プログラムと、前記第１記憶領域とは異なる第２記憶領域に記憶される領域外プログラムと、を有する遊技機において、バックアップ復帰処理とＲＡＭクリア処理とを含む複数処理の何れかを、電源投入時に実行可能であり、前記領域外プログラムによる判定処理に基づいて、所定ＲＡＭ領域に所定判定情報を設定可能であり、前記所定判定情報が設定された場合に、所定制御手段の制御により特定報知を行うためのコマンド送信を前記領域外プログラムにより実行可能であり、電源投入時に前記バックアップ復帰処理が行われた場合には、前記所定判定情報をクリアしないことで前記特定報知を継続して実行する一方、電源投入時に前記ＲＡＭクリア処理が行われた場合には、前記所定判定情報をクリアすることで前記特定報知を実行しないように構成したものである。

20

また、前記領域外プログラムによる前記判定処理に基づいて、前記所定ＲＡＭ領域に前記所定判定情報が設定された場合、前記領域内プログラムにより遊技停止処理を実行可能に構成してもよい。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明によれば、記憶容量に制限のある記憶手段を用いた処理をより適切に行うことが可能である。

30

40

50